



I. チームの概要

川崎市多摩区菅を拠点として、多摩川河川敷グラウンドで活動しています。創部は1958年、菅フェニックス初代監督の田辺氏(東京六大学野球/社会人野球経験)が、当時の稲田堤菅地域の青少年に**楽しい野球を広める**という目的で創られた66年の歴史のあるチームであり、軟式野球および神奈川県少年野球で最も歴史・伝統あるクラブチームです。

全体の運営はチームの監督が統括管理し、現場運営は監督・コーチが実施します。また、部員の父母が中心となり「育成会」組織を結成し、話し合いや試合応援、各種当番、その他年間行事の運営を実施します。

【チーム運営スタッフ及び主将・副主将】

監督	大村 保延 (硬式野球経験者・元 星が丘キッズ監督)		
指導者	及川 雄史 (菅フェニックスOB・硬式野球経験者)		平川 兼也 (菅フェニックスOB・硬式野球経験者)
	若林 忠之 (菅ウィングス)		平井 信教 (硬式野球経験者)
主将・副主将	主将: 佐藤 慶伸 (南町ブルージャークス)	副主将: 吉原 佑 (三田サンライズ)	副主将: 山本 来夢 (三田サンライズ)
事務局	馬場 敏 (馬場ブルーファイトーズ)	西田 修 (馬場ブルーファイトーズ)	篠崎 吉夫 (天宿パワーズ)
	矢澤 雄一 (稲城ブラックキーズ)	高野 信平 (富士見台ウルフ)	
育成会	会長: 佐藤 亜美	副会長: 小山 彩	副会長: 志浦 直美

II. チームの育成方針と指導方針

育成方針は『徳育、体育』に焦点をあて、それらを醸成することを目指します。

- 徳育は『挨拶や礼儀の実行、相手を思いやる行動、積極的に挑戦する行動』の醸成。
- 体育は『基礎体力の修得と向上、野球基本技術(投・打・守・走)の修得と向上』の醸成。

指導方針はコーチングスタッフ全員が次の事項を認識して部員に関わります。

- 指導者の指導内容の統一性を図り、タイムリーな指示や指導、奨励を実行する。
- 個人差を考慮した指導内容・方法を実行し、選手が指導内容をしっかりと理解しているか確認する。
- 練習・試合ともに『元気、勇気、根気』の発揮を支援する。
- 選手の体調・ケガのケアを最優先し、指導に関わる。

III. チームの歩み(実績と人材)

1. 全日本少年軟式野球連盟主催の全国大会に神奈川県代表として3回出場し、全国3位の成績を収めています。更に、同連盟主催の関東大会にもこれまで11回出場し、優勝2回、準優勝3回の成績を収めています。
2. 当クラブで活躍したOBの中から、甲子園出場者や、社会人野球、プロ野球へ多数人材を輩出しています。2006年3月『春の選抜高校野球』には「東海大学菅生高等学校(東京代表)」の正捕手として、金森哲也君(寺尾台イーグルス出身)が出場しました。また、当クラブ出身OBの多数は、高校1年生のうちからベンチ入りする等高校野球でも活躍しています。
3. OBが進学した主な高等学校

神奈川県 東海大相模、桐蔭学園、桐光学園、武相、横浜、法政第二、藤嶺藤沢、日大藤沢、慶応、立花学園、市立横浜商業、鶴見大付属、県立多摩、県立百合丘、県立生田、県立麻生、県立川崎北、県立川崎工科、県立光陵、市立高津、県立橋本、市立川崎、県立住吉、県立相模原、県立新城、県立生田東、県立菅、県立大和西、藤沢翔陵、市立橋、県立向の丘工業、横浜創学館、麻布大付属

東京都 早稲田実業、日大第三、駒澤大学、東海大菅生、国学院久我山、国土館、文教大学付属、世田谷学園、朋優学院、日大鶴ヶ丘、多摩大学目黒、日体荏原、法政大、日大豊山、駒場学園、都立千歳丘、都立調布北、大成、都立府中西、明星、都立松が谷、城西大城西、東京、明法、東京実業、日本工業大駒場

山梨県 日本航空、帝京第三、東海大甲府、甲府商業
岩手県 盛岡大付属

IV. 活動費

1. 部費は月額8,000円(部費:3,000円、備品購入費1,000円、夏合宿費積立4,000円)です。
2. 合宿は夏期に1回(3泊4日)です。

V. 公式戦概要(1年間)

時期	大会名	主催
4月	神奈川県クラブチームリーグ春季大会	神奈川県中学生野球クラブチーム連盟
	全日本少年軟式野球川崎大会	川崎市野球協会
	武蔵野少年野球大会・春	武蔵野少年野球連盟
5月	関東クラブチーム春季大会	関東中学生軟式野球クラブチームリーグ
6月	神奈川県夏季トーナメント大会	神奈川県中学生軟式野球クラブチーム連盟
	四都市対抗軟式野球大会	町田インパルス
7月	全日本少年軟式野球神奈川大会	神奈川県野球協会
	関東少年軟式野球大会	神奈川県野球協会
8月	全日本少年軟式野球全国大会	全日本軟式野球連盟
	関東少年新人軟式野球大会	川崎市野球協会
9月	神奈川県クラブチームリーグ秋季大会	神奈川県中学生野球クラブチーム連盟
10月	武蔵野少年野球大会・秋	武蔵野少年野球連盟
	関東クラブチーム秋季大会	関東中学生軟式野球クラブチームリーグ

VI. 近年の主要大会戦績

- 2017年：川崎市中学生軟式野球クラブチーム部活動チーム交流大会 **3位**
武蔵野少年野球大会少年Ⅰ部春季 **3位**
全日本少年春季軟式野球大会川崎市予選 **優勝**
- 2018年：四都市対抗野球大会B **優勝**
全日本少年軟式野球大会川崎市予選 **優勝**、全日本少年軟式野球大会神奈川県予選 **準優勝**
川崎市中学生軟式野球クラブチーム部活動チーム交流大会 **準優勝**
横浜DeNA ベイスターズ杯 **優勝**、全日本少年春季軟式野球大会川崎市予選 **準優勝**
- 2019年：全日本少年軟式野球大会川崎市予選 **準優勝**、全日本少年春季軟式野球大会川崎市予選 **準優勝**
全日本少年軟式野球大会神奈川県予選1回戦にて **完全試合達成**、横浜DeNA ベイスターズ杯 **3位**
- 2020年：関東中学生クラブリーグ秋季大会 **3位**、武蔵野少年野球秋季大会Ⅱ部 **準優勝**
- 2021年：全日本少年軟式野球クラブチーム選抜大会出場、関東少年新人軟式野球大会川崎市予選 **優勝**
- 2022年：武蔵野少年野球秋季大会Ⅰ部 **3位**、武蔵野少年野球秋季大会Ⅱ部 **3位**
川崎市スポーツ協会 奨励賞受賞、関東中学生クラブリーグ春季大会 **3位**
- 2023年：武蔵野少年野球秋季大会Ⅰ部 **3位**、武蔵野少年野球秋季大会Ⅱ部 **優勝**
全日本少年軟式野球大会川崎市予選 **優勝**、全日本少年春季軟式野球大会川崎市予選 **準優勝**
関東少年軟式野球大会神奈川県予選 **3位**
全日本少年軟式野球クラブチーム選抜大会 <びわこカップ> 出場
ALLJAPAN 中等部2023 全国大会出場

VII. 練習について

練習概要

- 春期(3月～5月)：基礎技術の反復や応用技術の導入
- 夏期(6月～8月)：実戦形式練習(攻撃面/守備面)および強化ポイント(弱点の補強)練習
- 秋期(9月～11月)：新チーム作り 個人技術・能力の評価をベースに各ポジションへの適合性確認
- 冬期(12月～2月)：基礎体力作り(走込み、筋力トレーニング)、サーキットトレーニング、瞬発力強化

練習時間

- 土曜・日曜・祝日：練習時間は7～8時間
- 春・夏・冬休み：指導者のスケジュールにより不定期に実施。

VIII. おわりに

神奈川県で66年の歴史と伝統がある菅フェニックスです。『君』の一生懸命なプレーが新たな歴史に刻まれます。「全国大会に行きたい! 野球がもっと上手になりたい!」という『君』、菅フェニックスと一緒にプレーしましょう。充実したコーチングスタッフが野球技術・能力の向上のために指導します。『君』の入部を待っています。